

Sun Professional Services

Solaris 8/9 Containers 簡易移行アセスメントサービス

Solaris 8/9 Containers Assessment Service

Highlights

- 実際に Solaris 8/9 Containers 上でアプリケーションを稼動して動作を確認するので、確実な判断が可能
- 実際の移行を検討するための移行期間、リスク等の洗い出しが可能
- 検証環境の構築からアプリケーション動作確認の支援までサンのエンジニアがトータルサポート
- サンのエンジニアが検証環境を構築するので、検証期間が短縮。お客様はアプリケーションの動作確認作業に注力可能
- 検証用の機器をサンから貸し出し可能

サン・マイクロシステムズ株式会社
サービス統括本部
プロフェッショナル・サービス本部

Solaris 8/9 Containers 簡易移行アセスメントサービス

本サービスは、Solaris 8 Containers または Solaris 9 Containers (以下、Solaris 8/9 Containers)を使用した Solaris 10 環境への移行を検討しているお客様に対して、実際にアプリケーションを検証環境で稼働させて移行の可否を確認するサービスです。本サービスは Solaris 8 Migration Assistant 移行支援サービス(*1)における Justification Review Service の一環として提供します。

Solaris 8/9 Containers 環境で移行対象のアプリケーションが実際に稼働するかどうかを判断するために最も確実な方法は、実際の移行環境を想定した検証環境を用いてアプリケーションを稼働させて可否を確認する方法です。世界中の事例を携えてサン・プロフェッショナルサービスのエンジニアがお客様のサイトへオンサイトし、検証環境の構築からアプリケーションの稼働可否確認まで支援しますので、検証効率とかかる期間を格段に向上させることが可能です。

(*1) 2008 年 3 月発表当時のサービス名称で、ソフトウェアの名前は Solaris 8 Containers または Solaris 9 Containers に変更されています。

サービス内容

サービス対象製品

ハードウェア製品

- 旧環境を想定したサーバ x1 式
- 新環境を想定したサーバ x1 式

ソフトウェア製品

- Solaris 8 or 9 (旧環境)
- Solaris 10
- Solaris 8 Containers
- Solaris 9 Containers

作業概要

本サービスでは以下の作業を実施します。

- ・現行環境・移行要件確認
- ・検証環境構築
- ・アプリケーション稼働可否確認検証
- ・検証レポート作成

現行環境・移行要件確認

現行環境の構成と移行に求める要件を確認をします。また、キックオフミーティングを実施し、作業方法、スケジュール、及び役割分担について話し合い確認を行います。

検証環境構築

移行要件に基づいて検証環境を構築します(*2)(*3)。

- ・Solaris 10 環境の構築
- ・Solaris 8/9 環境の構築

現行環境の OS データを使用して検証用の Solaris 8/9 環境を構築します。この環境に対してパッチの適用などを実施した上でアプリケーションの稼働可否を確認します。

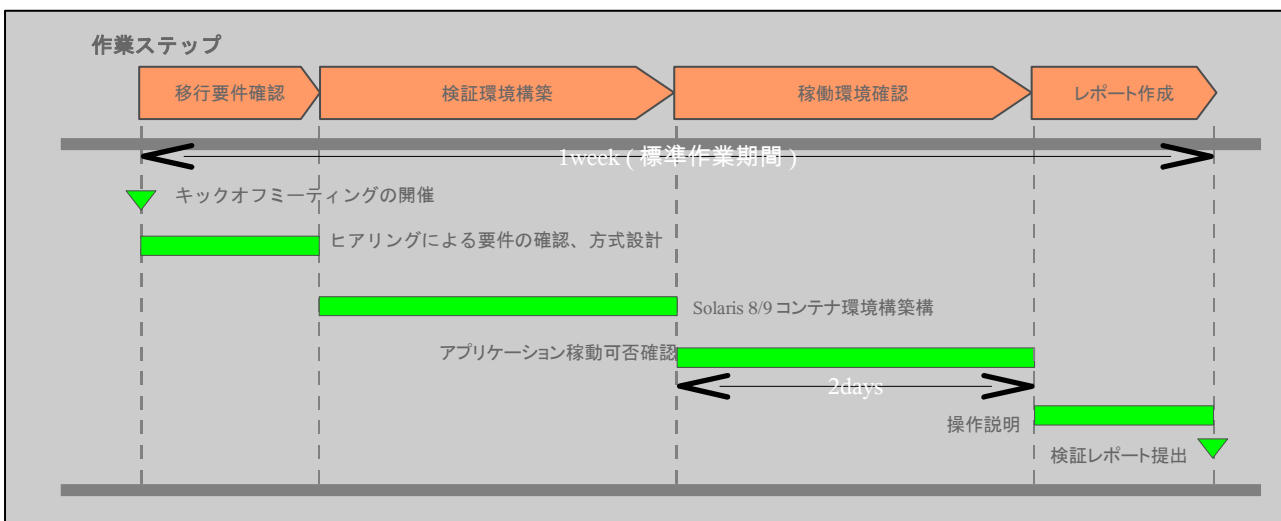
(*2) Solaris 10 または Solaris 8/9 を稼働させる機器はサンで貸出機を用意致しますが、顧客サイトの要件等によりお客様にてご用意頂くことも可能です。

(*3) Solaris 10 または Solaris 8/9 を稼働させる機器をお客様にてご用意頂く場合は、お客様サイトで OS インストールや必要なパッチの適用を実施します。

アプリケーション稼働可否確認検証

構築した検証用の新旧環境を用いて、アプリケーションを実際に稼働させ、移行可否を確認します。

- ・ 最大 2 日までサンのエンジニアがオンサイトしてアプリケー



Solaris 8/9 Containers 簡易移行アセスメントサービス

シジョン稼動可否の確認を支援します。

- アプリケーションの稼動を確認するシナリオ、テストケースに沿って確認を実施します。アプリケーションの操作についてはお客様にて操作頂く事を前提と致します。テストケースについてはお客様にてご用意頂く必要がございます。
- 検証終了時に dd などの方法によりディスクのデータを初期化します。

検証レポート作成

アプリケーションの稼動可否検証の結果をレポートとしてまとめます。レポートには以下の内容が含まれます(*4)

- アプリケーション稼動可否の結果
- 検証環境概要
- 稼動させるための条件
- 移行にかかる工数、期間、方式概要

(*4) 検証結果によって記載される内容は変更されます。

成果物

- Solaris 8/9 Containers 環境 アプリケーション稼動可否検証結果報告書(*5)

(*5) 提供する成果物・ドキュメント名称は異なる場合があります。

作業期間

10 営業日程度

作業条件 (補足内容)

1. サン・マイクロシステムズ株式会社の標準作業時間帯(土曜、日曜、祝祭日および年始年末を除く月曜から金曜まで9時から17時30分)以外に作業が発生する場合には、別途ご相談の上対応させて頂くものとします。

2. 移行対象のアプリケーション数は3つまでとし、それを超える場合は別途ご相談となります。
3. お客様サイトにて機器を稼動させる場所、電源等を確保頂く必要がございます。また、対象のアプリケーションをそのサイトで弊社エンジニアが検証機器での使用を許諾頂く必要がございます。
4. 弊社がサーバを用意する場合において、お客様が移行を想定する機種と同等の機器をご用意できるわけではございません。稼動させるサイトで機器を稼動させる場所、電源等を確保頂く必要がございます。また、お客様サイトへ配送できることを前提とします。
5. Solaris 8/9 環境、Solaris 10 環境ともにご用意できるサーバは原則1台となります。
6. ベンダー製のアプリケーション・ソフトウェアが含まれる場合、お客様の責任で検証環境に関する使用許諾について確認頂く必要がございます。
7. Solaris 8/9 環境のアーカイブを作成するために一時的にお客様環境にてサーバを停止させて頂きます。
8. Solaris 8 環境において最新版のパッチにてアーカイブを作成することを前提とします。
9. アプリケーションの稼動可否を確認するシナリオ、テストケースはお客様にてご用意頂けることを前提とします。
10. 本サービスでは、アプリケーションのソースコードに関するコンサルティングは含まれておりません。アプリケーションのソースコードレビューや改変をご希望される場合、Justification Review Service)として個別対応致します。
11. 本サービスでは Logical Domains(LDoms)やハードウェアパーティショニングを含んだ環境での検証は対象外となります。
12. 外部ストレージは接続されていない前提、または考慮の対象外となります。外部ストレージまで考慮したアセスメントご希望される場合、Justification Review Service として個別対応致します。
13. 現行環境または移行先がクラスタリングされている場合は本簡易アセスメントの適用外となり、Justification Review Service として個別対応致します。
14. 本サービスで実施する検証は、テスト・データ(もしくはお客様よりテスト・データとしてご了承を得たもの)を使用して実施するものとし、データに関する一切の責任を負いません。

詳細は、弊社営業までお問い合わせください。

